

2018 年(平成 30 年) 8 月 31 日

～ ご案内 ～

**「スポーツチャレンジ(体験／研究)助成」
平成 31 年度(第 13 期生)の募集について**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)では、スポーツを通じて世界にはばたく逞しい人材の育成を目的とした「スポーツチャレンジ助成」の平成 31 年度(第 13 期生)の募集を開始します。

「スポーツチャレンジ助成」制度は、アスリートをはじめ、指導者、審判、ジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野で、自己の夢の実現に向けてキャリアやスキルアップをめざして各種体験にチャレンジする人々を支援する「体験助成」と、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツにかかわる学問・研究によりスポーツの普及・振興や競技水準の向上にチャレンジする人々を支援する「研究助成」の 2 部門からなり、それぞれ応募者の中から厳正な審査により各 15 件程度の個人・グループを選出し、助成金を交付する事業です。

詳しくは当財団ウェブサイトの募集要項をご覧のうえ、ぜひ貴団体・組織の関係者にご紹介・ご案内いただけますようお願いいたします。多くのチャレンジャーが当助成制度をきっかけに、自己を磨きあげ、世界にはばたくためのステップとなれば幸いです。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・山本

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500 番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

2018 年（平成 30 年）8 月 31 日

YMFS スポーツチャレンジ(体験／研究)助成 平成 31 年度(第 13 期生)助成対象者 募集開始のお知らせ

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、平成 31 年度(第 13 期生)YMFS スポーツチャレンジ体験助成および、YMFS スポーツチャレンジ研究助成の募集を下記のとおり実施します。

- 募集開始: 2018年(平成30年)9月1日(土)
- 募集締切: 2018年(平成30年)10月31日(水)
- 審査・発表: 1次審査(書類)及び2次審査(面接)を経て、2019年(平成31年)2月上旬に発表予定

体験分野

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、アスリート、指導者、審判、スポーツジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野から、我が国のスポーツ普及・振興や競技水準向上につながる、高い志、明確な目的・目標、そして具体的なプロセスを持ち、チャレンジスピリット、フロンティアスピリットにあふれる方を募集。現在までの実績や今後の活動目標などを指標に3つのカテゴリーを設定しています。

区分	応募資格	助成件数	助成金額	助成期間
アドバンスド	世界選手権など国際レベルでの実績を有する、中学3年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体	10件程度	上限 150万円	1年間 平成31年4月 ～ 新元号2年3月
ベーシック	世界選手権など国際レベルを目指す、中学3年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体		上限 100万円	
ジュニア	ジュニア世代の国際大会での実績を有する、中学1年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体	5件程度	上限 50万円	

研究分野

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する幅広い学問分野から、我が国のスポーツ普及・振興や競技水準向上につながる、自然科学・人文社会における学術的価値の高い学問・研究を目指す方を募集。現在までの実績や今後の活動目標などを指標に2つのカテゴリーを設定しています。

区分	応募資格	助成件数	助成金額	助成期間
基本	助成期間中、大学や研究機関等で研究職として活動に従事する、満40歳未満(応募時)の方。国籍は問いません。 ※教授職または教授職相当の職位の方を除く	10件程度	上限 120万円	1年間 平成31年4月 ～ 新元号2年3月
奨励	助成期間中、大学院博士課程(博士後期課程)に在籍中または修了した方(学位未修得者を含む)のうち、満30歳未満(応募時)の方。国籍は問いません。	5件程度	上限 60万円	

【参考】平成30年度(第12期生)の採択実績

体験分野: 12件・1,315万380円、研究分野: 14 件・1,389万3,540円、合計: 26件・2,704万3,920円

※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当: 山本)

www.ymfs.jp

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500
TEL: 0538-32-9827 FAX: 0538-32-1112

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan
Tel: +81 538 32 9827 Fax: +81 538 32 1112

【ご参考】 公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団について

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、モータースポーツやマリンスポーツ、またサッカーやラグビーにおいて豊富な普及・振興活動の実績を持つヤマハ発動機株式会社の創立 50 周年事業の一つとして、平成 18 年(2006 年)11 月に設立しました。YMFS は、豊かな人間性の涵養に効果的なスポーツの振興、およびスポーツ文化の向上による国家社会への貢献を事業目的として活動しています。

■YMFS の主な特徴

- スポーツを通じて、夢の実現にチャレンジする人を応援(挑戦する姿勢が共感・賞賛される社会づくり)
- 「しつこさ(質濃さ)」という独自の視点を大切に事業活動(プロセス重視の人づくり)

■YMFS の主な事業

事業	概要	主な活動
スポーツチャレンジ助成事業 ▶ 助成制度 ▶ 各種サポートプログラム	世界にはばたく逞しい人材の育成をめざし、スポーツを通して夢・目標の実現に向かってチャレンジする人をサポートする。	助成金の交付に加え、助成対象者の成長を促すプロセス重視の支援を実施。 ・PDCA による自己管理 ・異文化交流、等
スポーツチャレンジ体験事業 ▶ ヨットスクール・競技会 ▶ スポーツ教材提供 ▶ 自然・水辺体験促進	心身ともに健全な子どもたちの育成をめざし、スポーツをより身近に楽しむことや、自然・水辺体験を促進する。	体験を重視した子どもたちの健やかな心技体づくり。 ・スポーツ体験の促進 ・自然・水辺体験の促進、等
スポーツチャレンジ啓発事業 ▶ 表彰制度 ▶ 調査研究 ▶ 情報発信	スポーツチャレンジ賞(表彰)や調査研究活動をはじめ、各事業の実績や知見、情報を広く社会に発信する。	チャレンジすることの素晴らしさを社会に訴求。 ・「緑の下の方持ち」を表彰 ・現場視点の調査研究、等

「プロセス重視」の独自プログラムによる価値ある 1 年間 スポーツチャレンジ助成事業



スポーツチャレンジ助成事業は、スポーツを通じて自己の夢・目標にチャレンジするアスリートや指導者、研究者等の活動を支援するヤマハ発動機スポーツ振興財団の中核事業です。本助成制度では、助成金の交付やチャレンジ成果だけでなく、高いチャレンジ目標の設定やそこに至るプロセスも大切にしています。PDCA プログラムを充実させ、さまざまな経験や交流によって成長のきっかけづくりも行っています。競技や研究の成果向上を支援するとともに、社会にとって有用な逞しい人材の育成もめざしています。

- スポーツチャレンジ体験助成
(アドバンスド/ベーシック/ジュニア)

- スポーツチャレンジ研究助成
(基本/奨励)

独自のサポートプログラム

目標設定/活動計画、四半期ごとの報告、中間報告会、成果報告会、YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング、スポーツ討論会、特別講演会、等

YMFSスポーツチャレンジ助成

〈体験分野・研究分野〉

平成31年度「第13期生」

助成

対象者募集

応募締切…平成30年10月31日(水)



Do the Challenge.

ヤマハ発動機スポーツ振興財団は、スポーツに関連する幅広い分野で世界の舞台へ大きくはばたこうとしているあなたの情熱的なチャレンジを応援します。グローバルに活躍することを目指し、高い目標を掲げて取り組んでいる、個人の方、グループ・団体のみなさん、「スポーツチャレンジ助成」制度を活用して、夢や目標の実現に集中的に取り組む、充実した1年を過ごしませんか。



YMFSスポーツチャレンジ助成 平成31年度〈第13期生〉 助成対象者募集

【応募締切】
平成30年
10月31日(水)

プロセス重視の独自サポートプログラムによる価値ある1年間

YMFSでは「チャレンジの成果」はもとより、高いチャレンジ目標の設定やそこに至る「プロセス」も大切にしています。

PDCAサイクルをしっかりと実践し、さまざまな経験や交流による成長や向上のきっかけづくりも行っていく、

プロセス重視の独自サポートプログラム※を準備しています。

※助成開始時・修了時に開催されるスポーツ・チャレンジャーズ・ミーティングと中間報告会への参加が義務づけられます。

体験分野

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、アスリート、指導者、審判、スポーツジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野から、我が国のスポーツの普及・振興や競技水準向上につながる、高い志、明確な目的・目標、そして具体的なプロセスを持ち、チャレンジスピリット、フロンティアスピリットあふれる方を募集しています。現在までの実績や今後の活動目標などを指標に、アドバンスド・ベーシック・ジュニアの3カテゴリーを設定しています。ご自身のチャレンジテーマに合ったカテゴリーを選択し、ご応募ください。

■募集要項

区分	応募資格	助成件数	助成金額	助成期間
アドバンスド	世界選手権など国際レベルでの実績を有する、中学3年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体	アドバンスド・ベーシック 合わせて、10件程度	1件に対し、 上限150万円	1年間 (平成31年4月～)
ベーシック	世界選手権など国際レベルを目指す、中学3年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体		1件に対し、 上限100万円	
ジュニア	ジュニア世代の国際大会での実績を有する、中学1年生以上(応募時)の個人および、これによって構成されるグループ・団体	5件程度	1件に対し、 上限50万円	

■注意事項: ①プロ契約選手(競技を通して金銭を受受している方)や、他の団体等から助成または補助金を受ける方は対象外となります。

②公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)または日本パラリンピック委員会(JPC)の加盟競技団体など、中央競技団体の強化責任者(強化部長、監督など)による推薦が必要となります。

③体験活動が海外留学・在留を伴う場合、留学先・在留先の学校や団体、機関の受け入れが確定している方(入学・受入許可証等を提出のこと)が対象となります。

研究分野

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する幅広い学問分野から、我が国のスポーツの普及・振興や競技水準向上につながる、自然科学・人文社会における学術的価値の高い学問・研究を目指す方を募集しています。現在までの実績や今後の活動目標などを指標に、基本・奨励の2カテゴリーを設定しています。ご自身のチャレンジテーマに合ったカテゴリーを選択し、ご応募ください。

■募集要項

区分	応募資格	助成件数	助成金額	助成期間
基本	助成期間中、大学や研究機関等で研究職として活動に従事する、満40歳未満(応募時)の方。国籍は問いません。 ※教授職または教授職相当の職位の方は除きます。	10件程度	1件に対し、 上限120万円	1年間 (平成31年4月～)
奨励	助成期間中、大学院博士課程(博士後期課程)に在籍中または修了した方(学位未修得者を含む)のうち、満30歳未満(応募時)の方。国籍は問いません。	5件程度	1件に対し、 上限60万円	

■注意事項: ①他の助成団体等から助成または補助金を受ける方は、対象外となります。②大学や研究機関等の指導責任者による推薦が必要となります。

③研究活動が海外留学・在留を伴う場合、留学先・在留先の大学や研究機関の受け入れが確定している方(入学・受入許可証等を提出のこと)が対象となります。

④研究助成金における大学等の管理費(オーバーヘッド)への充当は認めておりません。

申請から選考までの流れ

- 1 応募申請** 当財団WEBサイト(www.ymfs.jp)にて電子申請を受け付けます。
【応募締切】平成30年10月31日(水) ※日本時間正午にて入力締切
- 2 1次審査** 書類選考 平成30年12月初旬予定
- 3 2次審査** 面接選考 平成31年1月中旬予定
- 4 決定** 平成31年2月予定

- 応募申請はお早めをお願いします。●本募集期間中に応募できる件数は、1人/1グループ・団体あたり1件のみとします。
- グループ・団体は、代表者が申請を行ってください。●同一の個人/グループ・団体の採択回数には上限があります。

スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング、 中間報告会

当助成に採択された方は、助成開始時・修了時に行われるスポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング(1泊2日の合宿形式)と中間報告会への参加が義務づけられます。

スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング
平成31年3月1日(金)・2日(土)
開催地:千葉県内
新元号2年(2020)3月 ※日時、会場未定

中間報告会
新元号元年(2019)9月下旬～10月中旬に数日開催
※全開催日のなかから、1日を選択して参加

